

DVってなに？

【DV・Domestic Violence】 ドメスティック・バイオレンス
夫婦や恋人間で行われる暴力のこと。

DVはなぜ起きるの？

自分のストレスや怒りのはけ口として、自分より立場の弱いものを、暴力によって支配しようとする行為です。子どものころから植え付けられてきた、「らしさ」に縛られた生き方を変えられないことや、加害者自身が暴力を受けたり、親の暴力を見て育った場合など、育った環境が影響することもあります。DVの加害者もまた被害者だったといえます。

暴力は殴る・けるなどの

危害を加える行為だけなの？

危害を加える行為だけではなくありません。

- 口汚くのしるなど、言葉の暴力。
 - 性行為の強要や避妊に協力しないこと。
 - 生活費を入れない・妻を働かせないなど経済的な支配。
 - 外出や交友関係を限定して束縛する。
 - 話を聞かないなど言動を無視する。
- というようなことが「暴力」となりうるのです。

なぜ被害者は逃げないの？

DVは、暴力↓謝罪↓安定期↓緊張↓暴力というサイクルから成り立っています。謝罪↓安定期には、両者の関係が修復されてしまい、経済的不安や社会性を考慮し、離別を思いとどまるのです。また、強いDVを受けている人は、逃れてくても、加害者側の強い強制により、逃られない心理状態に陥ってしまっている場合も多いようです。

DVは被害者にどのような

影響を及ぼす？

被害者は、恐怖心、不眠・神経過敏・うつ・自信喪失、過食・拒食、頭痛などの症状が現れます。子どもは、よく泣く・夜尿症・かんしゃくを起こす・不登校などの症状が現れます。また、成長してから自らが加害者になる可能性もあるようです。

夫婦げんかは犬も食わない

で済まされることなの？

以前は、知人に相談しても、「ただの夫婦げんか」で済まされていました。近年、DVによるとみられる死亡例も取りざたされ、大きな社会問題となっています。平成13年にDV防止法が成立したことにより、夫婦間や恋人同士の「暴力と思われる行為」は罰せられるようになりました。

DV防止法とは・・・「配偶者からの暴力の防止、および被害者の保護に関する法律」です。

2001年(平成13年)4月公布、10月に施行されました。

ここに至るまでには長い長い道のりでした。

女性の権利の保障に力を尽くしたのは、1945年に設立された国際連合です。

DVが個人問題～社会問題という認識に移行したのは、1970年代半ば、アメリカで始まる「殴られた女性たちの運動(battered women's movement)」がきっかけ。

日本での取り組みは国連に応じるかたちで、90年代に入ってから。

1993年 国連総会で「女性に対するあらゆる形態の暴力に関する撤廃宣言」採択。

1995年 第4回世界女性会議「女性の人権」が最大のテーマとなる。